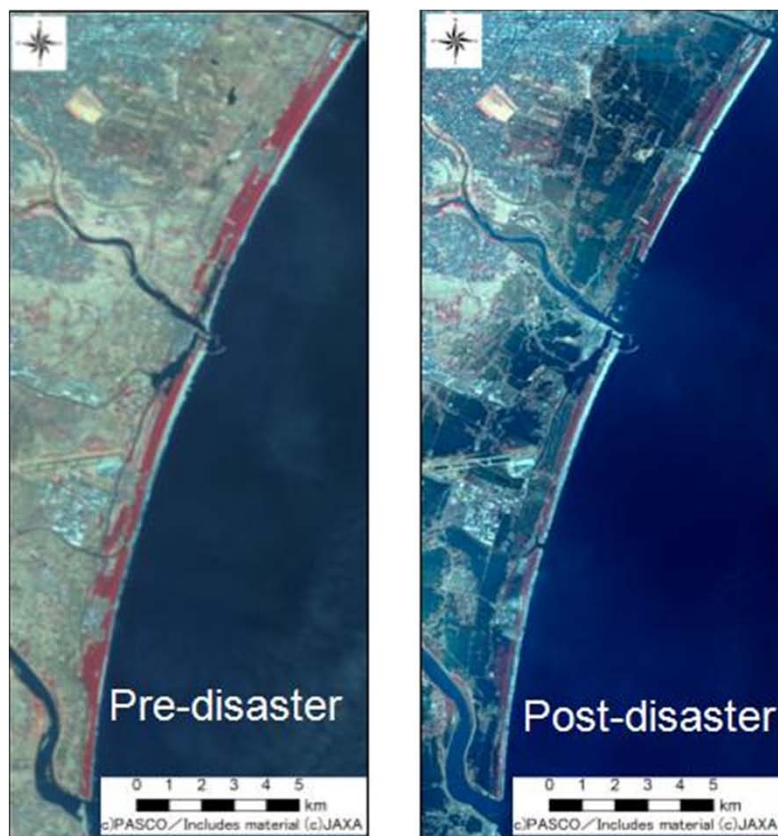


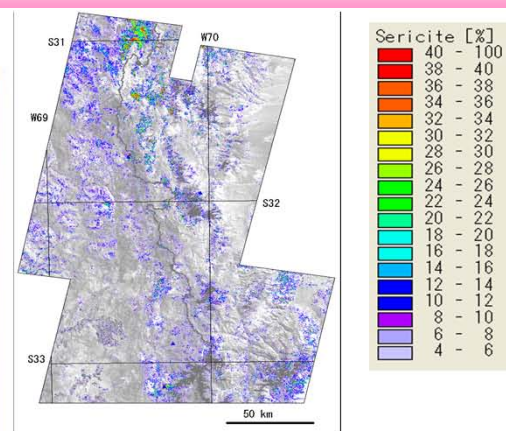
(13) 衛星画像ソリューションビジネス

- 衛星画像は、災害監視、資源探査、水稻の育成段階分類、樹種分布等様々な分野で利用可能。
- ASEANを中心に途上国、新興国へ衛星画像ソリューションサービスも含めて提案していくことが重要。

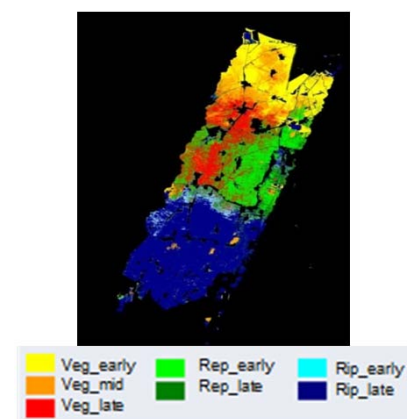
東日本大震災前後の比較



鉱物資源の分布



水稻の育成段階分類図



樹種分布



樹種分布の現地調査結果

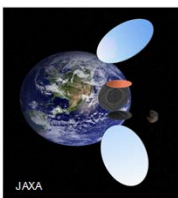
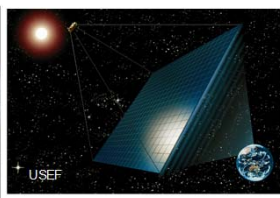
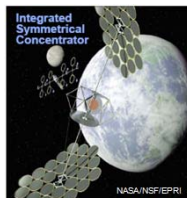
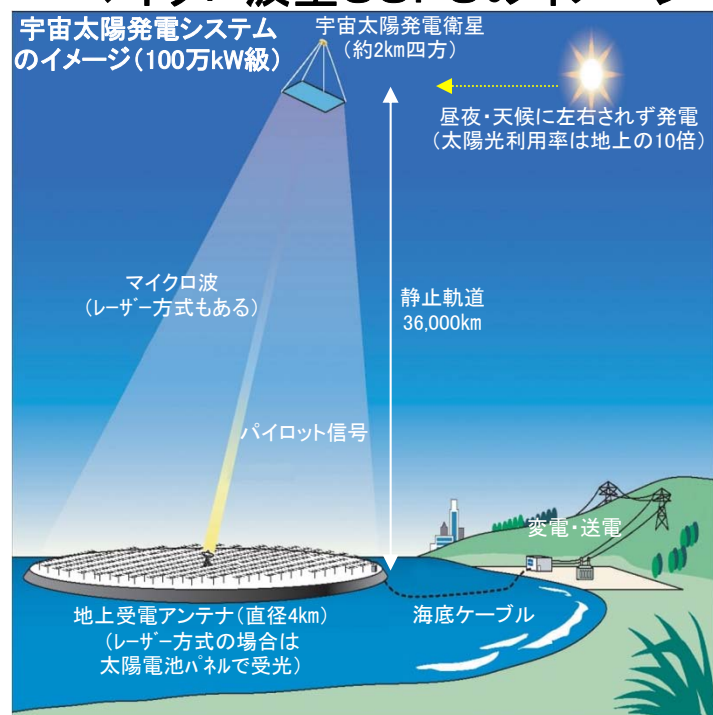
樹種分布の推定結果

(14) 宇宙太陽光発電システム

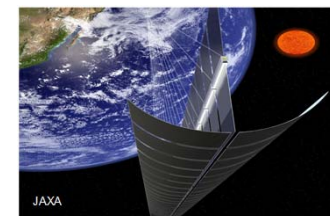
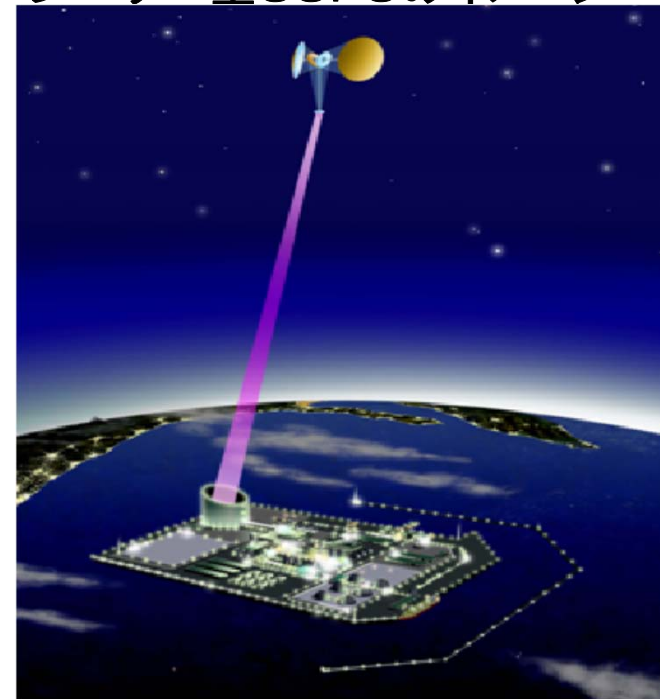
○宇宙空間において太陽エネルギーをマイクロ波やレーザーに変換して地上へ伝送し、地上において電力や水素に変換して利用する将来の新エネルギーシステム。

宇宙太陽光発電システム

マイクロ波型SSPSのイメージ



レーザー型SSPSのイメージ



(15) ASEAN防災ネットワーク構想

- 2011年7月の日・ASEAN外相会議において、人工衛星を活用した自然災害のリスクの特定とモニタリングの実施による“ASEAN防災ネットワーク構築構想”を提案。
- 11月の日ASEAN首脳会議の場でも、野田総理から本構想の取組を実施するとの説明。ASEAN連結性強化に資する主要案件リスト「フラッグシップ・プロジェクト」の一つ。
- 現在、ベトナムとの間で進めている我が国の人工衛星を活用した“災害モニタリングシステム”をASEAN全体に拡大することにより、衛星による観測頻度が向上し、ASEAN全体の災害監視・防災対応に貢献すると同時に、インフラ・システム輸出にもつながる。

ASEAN防災ネットワーク計画の概要

- ◆ 各国が保有する衛星を連携して運用することにより高頻度な観測が可能。
- ◆ 災害時には、被災状況の迅速な把握、平時にはハザードマップの作成や農業、環境分野等でも利用。
- ◆ ベトナムを始め、衛星保有を検討しているタイやインドネシアとも衛星の連携運用について提案し、地上設備を含めたインフラ・システム輸出の促進につなげる。
- ◆ 本構想を実現するため、インフラシステム調査等を活用。

